

平成28年4月 教育委員会会議録 第5回

- 1 日 時 平成28年4月19日（火） 10時00分～12時45分
- 2 場 所 教育長室
- 3 出席委員 松村英勝（委員長）・埤本友造・平沖純子・向井智恵
枝廣泰知（教育長）
- 4 出席職員 河本教育次長・新谷学校教育課長・福嶋生涯学習課長・藤原主幹・
肥田係長

開会 松村委員長 開会を宣する。

1. 教育長報告

(1) 「教育長あいさつ」について

坂町教育委員会ホームページ掲載の「教育長あいさつ」及び坂町教育フォーラム教育長講話要旨により、考え方を説明。

(2) 平成28年度第1回広島県市町教育長会議について

会議録及び会議配付資料抜粋により、概要説明。

2. 議題

(1) 議案第8号：平成28年度教職員研修の方針について

藤原主幹から、平成28年度坂町教育委員会主催研修（案）について説明後、議決を諮る。

各委員とも異議なし。

(2) 議案第9号：「坂町子ども読書活動推進計画」について

福嶋生涯学習課長から、これまで3回にわたり検討・協議した原案について説明後、議決を諮る。

各委員とも異議なし。

(松村委員長)

今後、本推進計画は広く周知されるのか。

(福嶋生涯学習課長)

ホームページに掲載するなど、広く発信していく。

(藤原主幹)

5月17日実施の第2回坂町教育フォーラムにて説明いただく。また、8月実施予定の図書館司書との研修会でも利用していく予定である。

(福嶋生涯学習課長)

まだ、作成段階であるが、本推進計画の要約版として、A3用紙1枚で概要がわかるものを示していきたい。

(3) 議案第10号：坂町スポーツ推進委員の委嘱について

福嶋生涯学習課長から、前回(3/22)議決の本委員の委嘱について、追加2名の委員名簿案により説明後、議決を諮る。

各委員とも異議なし。

(4) 議案第11号：障害を理由とする差別解消の推進に関する坂町立学校教職員対応要領について

新谷学校教育課長から、本対応要領案等により、策定内容を説明後、議決を諮る。

各委員とも異議なし。

(5) 報告・協議1：坂町教育委員会事務局事務分掌について

河本教育次長から、学校教育課及び生涯学習課の事務分掌表により、平成28年度の組織体制を説明。

(6) 報告・協議2：平成27年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について

(7) 報告・協議3：平成28年度坂町教育委員会経営計画(案)、平成28年度坂町教育委員会自己評価表(案)について

(※ 報告・協議2及び3は関連性があるので、同時に説明)

河本教育次長から全体的な部分、新谷学校教育課長及び福嶋生涯学習課長から各課関係部分を、概要説明。

(埴本委員)

平成28年度坂町教育委員会自己評価表の道德心の高揚に、新たに「家族愛・郷土愛の醸成」が加えられ、全国学力・学習状況調査の質問事項の肯定的な回答を評価指標としている。本調査は本日実施され、結果がわかった状況で目標値の設定、そして評価というのは矛盾があるのではないかと。

(河本教育次長)

これについては、昨年度から町全体で取り組んでいる「坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中に記載されてある内容であり、4年間の長期的な取り組みの中での今年度目標値である。

(枝廣教育長)

確かに全国学力・学習状況調査は、本日実施されており、その結果の分析等が発表されるのが8月頃になる。この項目の最終的な目標は、平成31年度に90.0%へ到達させるとしている。その過程で今年度は84.0%を目標として、継続的に取り組んでいこうとするものである。

(埜本委員)

平成27年度点検評価の国際理解教育の推進において、「外国語の時間が好き」という質問に対しての中学校の肯定的回答が昨年度より下がっている。しかし、英語の成績は上がっているという状況が不思議だと感じている。

(藤原主幹)

中学校はテスト等において点数化される。それを含めて好きか嫌いかの価値観が生じる。例えば、他教科より英語の点数が良かったから好きとか、逆に点数が悪いから嫌いとか。中学校の教員からは「授業が分かるというのと、好きか嫌いかは別である。」という意見も出ている。小学校と中学校の好きか嫌いかの捉え方は違うので、平成28年度は質問内容を実態に即した内容に検討していこうと提案している段階である。

(埜本委員)

これら、道徳心の高揚や国際理解教育の推進の目標に対する具体的な取り組みはどうか。

(藤原主幹)

道徳心の高揚については、坂町小中連携研修の中の礼節部会において、礼節週間の取組で地域との繋がりを見直していくことを考えている。また、児童に家族愛をテーマとした自作教材を作成させ、道徳参観日の授業で使用する。例えば、まず第4学年で3小学校とも実施し、その後、他学年に発信していきたいと考えている。その他、広島県教育委員会の指導主事等を招きながら研修を深めていくことも考えている。

国際理解教育の推進については、今年度、広島県教育委員会から措置された学校間連携加配により、3小学校の外国語活動及び中学校の外国語科授業の充実を図ろうとしている。小学校の外国語活動の課題として、同じ教材で授業を進めているのだが、学校間格差、学級間格差が生じていた。そこで、学校間連

携加配の教員が中心となり、担任及びALTやJALTとともに同じ水準に引き上げていくことで、格差をなくしていこうと考えている。しかも、この加配教員は平成27年度までJALTとして3小学校に配置していた方であり、これまでの状況も把握できている。また、中学校においても、第1学年の英語科授業にT.T.で入り、小学校での外国語活動からの流れを作ることで、より効果を上げる仕組みを作ったことが、今年度の取組の特徴である。

(枝廣教育長)

家族愛・郷土愛の醸成の具体的な取組項目について、平成27年度の道徳心の高揚にある改善策の中に記載し、平成28年度に繋がる形とすることが望ましいように思う。

(向井委員)

平成28年度の教育行政方針では、家族愛や郷土愛については「育む」という表現となっているが、ここでは「醸成」となっているが、どうか。

(枝廣教育長)

「醸成」となると難しい表現のようになるので、「育む」で統一することが望ましいかもしれない。

(平沖委員)

平成28年度経営計画の目標及び取組にある、「外国語活動等の充実を図る。」の具体的な取組・方策には小学校についての詳細が記載されてあるだけで、中学校については何も無いがどうか。

(新谷学校教育課長)

小学校及び中学校をまとめた記載に変更する。

(平沖委員)

また、「いじめ・不登校対策を充実する。」においても、小学校への積極的支援となっているが、小学校に特化しているのは何かあるのか。

(枝廣教育長)

前年度、小学校には積極的支援を要したため記載していたが、小学校の取組の成果により現況は改善されたので、平成28年度としては別の表記に変更する。

(平沖委員)

平成27年度自己評価表の「確かな学力の向上を図る。」において、自己評価

がBとなっている。しかし、「基礎・基本」定着状況調査の小学校に「-0.7」があるのであれば、C評価となるのではないか。目標値が県平均3ポイント以上とある中の「-0.7」の評価としてはどうかと考えた。

(枝廣教育長)

点検評価にあたる評価指標には、「B 目標は達成された。(評価指標が総合的にほぼ達成された)」とあり、総合的に判断した評価結果である。

(河本教育次長)

以前、この評価表を議会に提出した際、「ほぼ達成されているのに、1教科だけの値で評価を下げるのは、現場の先生たちのやる気を損ねるのではないか。総合的に評価できないのか。」という指摘を受け、評価指標に総合的に判断する旨を明記した経緯がある。当初、学校教育課の自己評価としてはCとなっていたが、総合的に判断した結果Bとした。

(埴本委員)

小学校のみで評価するのであればCだと思うが、小学校と中学校の全体で見れば、Bで良いと思う。

(松村委員長)

総合的に判断した評価ということではあるが、平沖委員の視点も認識しておかなければならない。また、学校教育課も当初C評価としていた経緯も認識できれば、納得のいく評価であると考えます。

3. その他

(1) 主任の命課について

藤原主幹から、平成28年度小・中学校主任等の命課一覧表により、概要説明。

(2) 青少年育成坂町民会議総会及びあいさつ推進パレードについて

福嶋生涯学習課長から、概要説明。また、平成28年4月24日(日)開催の「図書館こどもまつり」について紹介。

(松村委員長)

次回の教育委員会会議の日程を確認する。

※ 5月24日(火) ※ 場所・時間は未定

閉会 松村委員長 閉会を宣する。